

2026年度

「ヨーロッパの歴史・文化講座」

－ 時代を創った人物

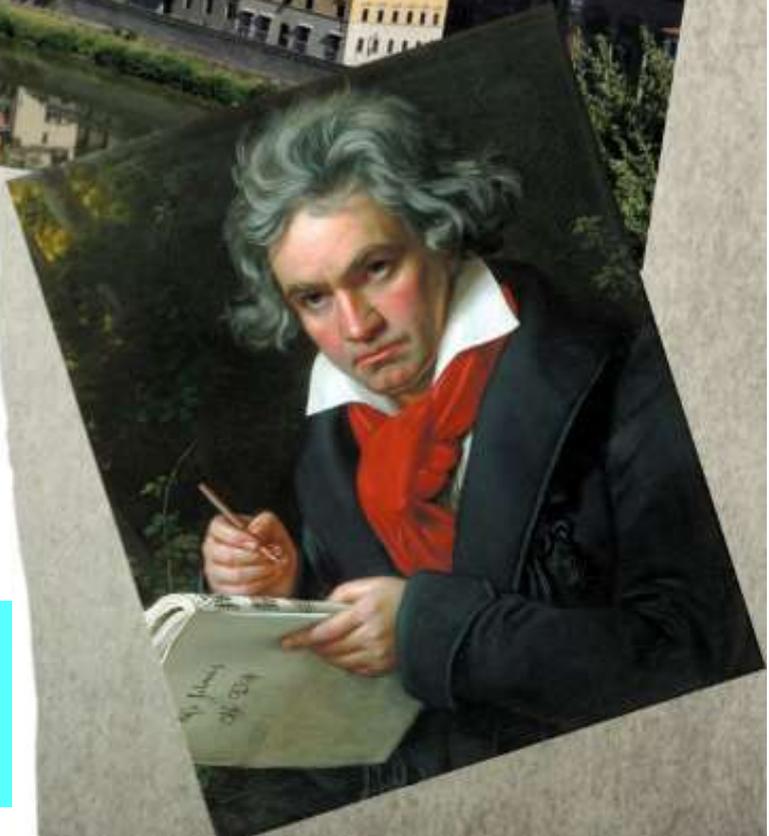
人物を創った時代 －



コミュニティふらっと
永福

元都立高校教師 伊藤 寿

第4木曜日（7・12月を除く）
参加費：1回1千円
申込電話：03-3322-7141



2026年度「ヨーロッパの歴史・文化講座」年間計画 (コミュニティふらつと永福)

回	木曜日	テーマ	内容
第1回	4月23日	ヨーロッパ文化の源流 ギリシャ神話 オイディプス王、トロイア戦争	ギリシャ神話の最終回は、ギリシャ悲劇の最高傑作とされるオイディプス王の物語とトロイア戦争。運命に翻弄されるオイディプス、世界三大美女のひとりヘレネ、トロイア戦争最大の英雄アキレウス、そして知将オデュッセウス。多くの名画とともに、彼らのドラマチックな生き様ををみていきます。
第2回	5月28日	名画でたどるキリスト教 旧約聖書1	キリスト教の聖典であるとともにユダヤ教の聖典でもある旧約聖書(ユダヤ教では「タナハ」)。その記述、教えはどのようなものか。今回は、天地創造から、信仰の父アブラハムのカナン(パレスチナ)への旅立ちまでを、聖書の記述、関連名画を通してみることにします。
第3回	6月25日	カエサルとリーダーの条件	ローマ帝国のグランド・デザインを作り上げたユリウス・カエサル。その類まれな人心掌握術、見事なまでの寛容と冷徹のバランス、クレオパトラやアントニウスを落胆させた後継者の人選など、彼が世界史上トップクラスのリーダーとされるゆえんについて考えます。
第4回	8月27日	ヨーロッパ社会とペスト	1347年から1351年にかけてヨーロッパを襲ったペスト(黒死病)のパンデミックは、ヨーロッパの人口の3分の1を失わせたとされますが、その後も流行は繰り返され甚大な被害をもたらしました。その脅威は、ヨーロッパ社会、文化にどのような影響をもたらしたのか。
第5回	9月24日	初期ルネサンスとメディチ家	塩野七生が「見たい知りたい、と望んだ人間が、それ以前の時代に比べれば爆発的としてもよいくらいに輩出した時代」と評したルネサンスは、なぜイタリア半島の小都市国家フィレンツェで生まれたのか。そこに君臨したメディチ家はどのようにパトロン活動を行い、ルネサンスを発展させたのか。
第6回	10月22日	ポルトガル、イエズス会と日本	ポルトガルは日本に、1543年に鉄砲をもたらし、1549年にはキリスト教を伝えた。そして、江戸幕府による1639年(寛永16年)の「第5次鎖国令」で入港を禁止されるが、それまでの約1世紀間、ポルトガルは日本にどのような影響をおたらしめたのか。
第7回	11月26日	ベートーヴェン第9交響曲の誕生	ベートーヴェン第9交響曲の初演は1824年5月7日、場所はウィーンのケルトナートーア劇場。それ以来、現在に至るまで多くの人々に生きる希望を与え続けてきた第九は、どのような時代状況の中で生まれたか？また、第九を生み出したベートーヴェンの人生は、どのようなものだったのか？
第8回	1月28日	ロシアの南下政策と日本	1895年の三国干渉で日本から中国に返還させた遼東半島の旅順を、その後ロシアは巧妙に獲得。それはやがて日露戦争につながる。しかしロシアの南下政策は、すでに江戸時代から日本に影響を及ぼしてきた。どのようにロシアは南下政策を展開し、それに日本はどう対処してきたか。
第9回	2月25日	渋沢栄一を育てたパリ	1867年(慶応3年)、若き渋沢栄一は将軍徳川慶喜の命を受け、パリ万国博覧会使節団に加わりフランスに渡った。彼が滞在したのは、ナポレオン3世の大改造で大きく生まれ変わった花の都パリ。やがて近代日本の指導者となる栄一は、そこで何を目にし、誰と出会い、何を学んだのか。
第10回	3月25日	世紀末ウィーンと反ユダヤ主義	19世紀末、多民族国家の都ウィーンでは、自由主義、民族主義の高まりの中で、西欧社会への同化を望み巨万の富を蓄えて急激に擡頭したユダヤ人に排斥の矛先が集中した。その実態を、ヒトラーに影響を与えたシェーネラーとカール・ルエーガーを通してみます。